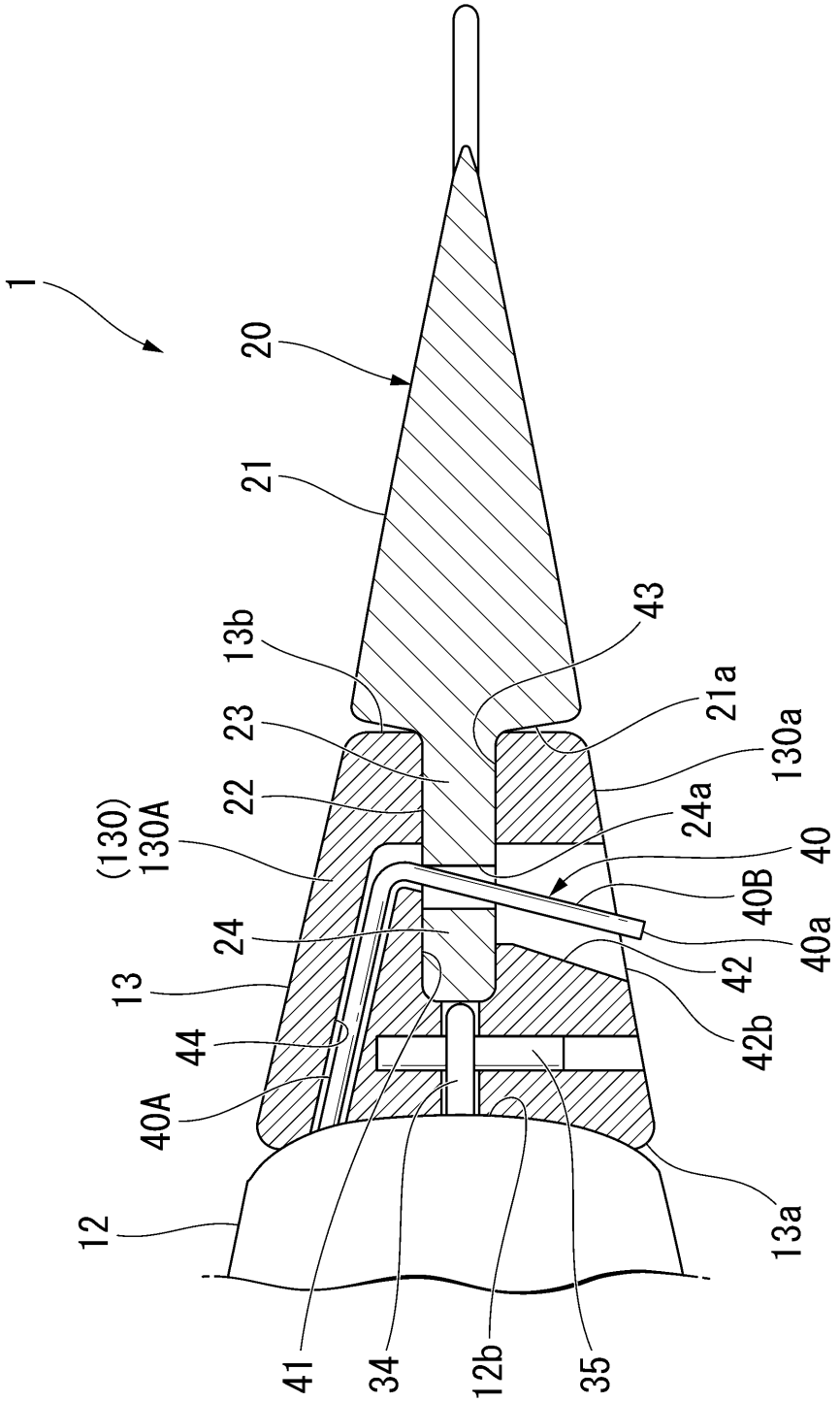
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和6年5月8日(2024.5.8)

【公開番号】特開2022-175034(P2022-175034A)
【公開日】令和4年11月25日(2022.11.25)
【年通号数】公開公報(特許)2022-217
【出願番号】特願2021-81147(P2021-81147)
【国際特許分類】
Ａ０１Ｋ 85/18(2006.01)
Ａ０１Ｋ 85/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ０１Ｋ 85/18
Ａ０１Ｋ 85/00 Ｇ

【手続補正書】
【提出日】令和6年4月25日(2024.4.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４０】
突出部２２は、尾部本体２１側で尾部本体２１の前端部２１ａから前方に延びる基部２３と、基部２３の前側に位置する被係合部２４と、を有している。被係合部２４は、基部２３よりも左右両側に拡大した形状となり、後述する第３ボディ１３の係合部４１に係合される。被係合部２４には、後述するピン４０のピン軸部４０Ｂ（他部）が挿入される係止穴２４ａを有している。係止穴２４ａは、被係合部２４を厚さ方向（上下方向）に貫通している。尾部２０は、係止穴２４ａにピン４０のピン軸部４０Ｂを挿入させた状態とすることで、第３ボディ１３に取り付けられる。第３ボディ１３に取り付けられた尾部２０は、略上下方向に延在するピン４０のピン軸部４０Ｂの軸回りに回転する。すなわち、尾部２０は、第３ボディ１３の後端部１３ｂに対して左右に揺動可能である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５０】
ピン４０のピン軸部４０Ｂは、ピン先端部４０ａから係合部４１側に向かうに従い漸次、前方から後方に向けて傾斜している。このときのピン傾斜角度θ、すなわち側方から見てピン先端部４０ａを通る接線Ｋ１（図２に示す二点鎖線）と前後方向に直交する直線Ｋ２とがなす角度θは、０°から９０°の範囲に設定されている。また、より好ましい上記ピン傾斜角度θとしては、１５°から９０°の範囲である。なお、本実施形態におけるピン傾斜角度θは、１７．５°である。
【手続補正３】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図４
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図４】


1
20
21
13b
43
23
21a
130a
22
24a
(130)
130A
40
40B
24
40a
13
42
42b
44
40A
12
13a
41
34
12b
35